



狭く見えがちなマンション住戸に大きな弓形の間仕切壁を入れ、奥行きと広がりを生み出している。裏側には回遊性のある水回りをコンパクトにまとめ込んで、機能的にも優れている。汎用性の高い手法として評価できる。

リフォーム前後の写真



リフォーム前 ①

②



②



①



③



④



⑤



⑥

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など

マンションの借家住まい(60m<sup>2</sup>)先手狭となり、子供の中学進学を機に同マンション9階の住戸(80m<sup>2</sup>)を購入し、リフォームを決断した。

《設計のポイント》

1.玄関からの導入をリビングまで続くアールの壁を持つギャラリー空間とした。図書室を兼ねたこの空間が住まいのシンボリックゾーンとなっている。住宅の廊下のあり方についての一つの提案と考えている。

2.カラースキームは長年愛用のダイニングテーブルの色に合せた木部と白色AEPの組合せを基本にシンプルな計画とした。

3.バルコニーの無い腰窓に危険防止とプライバシーの保護の目的で内側に面格子、サッシとの間にロールスクリーンを設置した。

《主婦の感想》

水回りがコンパクトで回遊性があり大変使い易く、同時に空間に広がりがある心地良い時間を過ごしている。

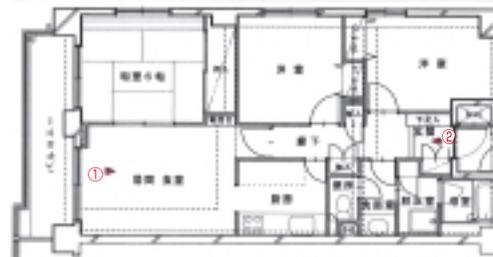
特に配慮した住宅性能など：耐震補強 省エネルギー バリアフリー 住む人の健康 その他( )

データ

所在地	東京都板橋区	構造 / 築後年数	鉄筋コンクリート造 / 16年
該当工事面積	79.62 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	975 万円
居住者構成	3 人 (大人 15歳以上)	2 人 子供	1 人) ペット
設計者	(有)D&Dデザイン	担当者	鈴木 哲也
施工者	(株)エクトス	担当者	辻 一彦

リフォーム前

リフォーム後



S=1/150



S=1/150